

第53回 中国・四国地区子ども会育成研究協議会
山口大会

第4分科会 事例発表
子ども会活動再生への試み



柳井市子ども会育成連絡協議会
平原 幸 憲

今、子ども会活動の危機！ なぜか？

子ども会が次々に活動停止

【柳井市の例】 41 → 14

子ども会加入小学生の数

平成19年

加入率 1,750人
52.6% 921人

令和5年

加入率 1,249人
15.2% 190人

下砂原

余田

新庄

上下南部

鳴門

遠峰

その一方で...

子ども会減少の原因

つながりを求めている

孤立する家庭・児童

- 1 子ども数の減少（地域の過疎化）
- 2 共働き世帯の増加（親の多忙化）
- 3 自治会活動の停滞（共同体の変容）
- 4 権利意識の蔓延（世話役の負担増）
- 5 豊かな社会（選択肢の多様化）

柳井市の取組 1

自治会単位の子ども会活動の限界



新しい子ども会編成の試み

事例①

事例②

事例③

事例④

事例⑤

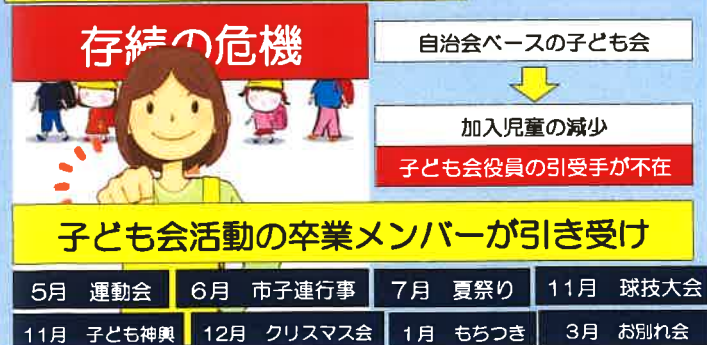
① 地域の合唱団を母体に組織



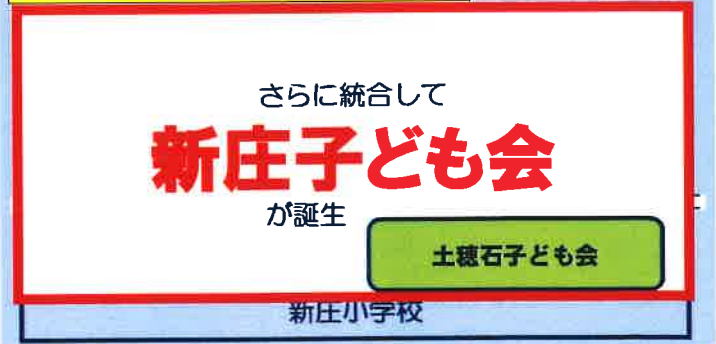
② 防災活動の指導者を中心に組織



③ 子ども会のOGが再建に立ち上がる



④ 子ども会維持のために合併を繰り返す



⑤ 小学校区全体を網羅する子ども会の新設

柳東子ども会

白濁西二

柳東小学校区に住む方は
参加できます。

市子連行事に
参加できます。

県子連行事に
参加できます。



子ども会活動に
参加したい

子ども会の無い
自治会の家庭

今後…

様子を見ながら
独自の行事を模索したい。

新しい取組の期待と課題

- 1 子ども会の無い地域の希望者を受け入れられる。
- 2 自治会・学年を超えた新たな関係を築ける。
- 3 参加する親子に市子連・県子連の事業を提供できる。

課題 立ち上げた子ども会組織をいかに継続していくか。

事例②③⑤

高い意識を持った個人による

受け継ぐ人材の
育成が必要

柳井市の取組 2

子ども会に加入しても…



楽しかった！

入ってよかった！

という思いを持てなければ続かない

魅力ある活動創造への試み

事例① 事例② 事例③

魅力ある活動創造①

外部団体とのコラボレーション

子ども会単独では活動に限界がある

柳井市子連



B & G海洋センター

無人島へGO！

～海でカヌー体験教室～



無人島へGO！～海でカヌー体験教室～

楽しい体験



参加者がリピーターに
口コミで他の親子に広まる

令和5年度 市子連新規加入単子が5つ



- ①子ども会加入者の増加
- ②市子連加入単子の増加



参加希望者の
増加

魅力ある活動創造②

子どもや保護者に魅力のある行事を！②



単子の活動を支援するツールを周知・体験

あそび体験フェス(ニュースポーツ)

あそび体験

ポッチャ

ラダーゲッター

モルック

バルーンアート

知ってもらい
体験してもらい



希望があれば
貸し出しますよ

魅力ある活動創造③

既存のイベントへの
積極的な働きかけ

柳井まつりでの
子ども神輿
参加呼びかけ

ポスター
の掲示

ちらし
の配付



昨年度神輿を出した子ども会

4

今年度希望者の所属自治会

白湯東二	琴石	白湯西二	琴風	宮野	宮本
大屋東	大屋	姫田	箕越	瀬戸側	土穂石
山根	よつば	天神	広瀬	尾の上	下馬皿
中馬皿	ひづみ	ひむろ	赤石	伊保庄	阿月
下沖原	余田	新庄	上下南部	鳴門	遠崎

おわりに

現状を座視する限り…

子ども会の長期低落傾向は変わらない

今ある環境の中で

新しい子ども会のあり方
を模索し続けていきたい